

令和5年度 石油コンビナート等防災体制検討会（第2回）  
（石油コンビナートにおける事故に関する検討）  
【議事要旨】

1 日時

令和6年3月22日（金）10：00～11：15

2 会議方式

対面及びWEB方式

3 出席者

別紙（出席者名簿）参照

4 配布資料

資料1－1 石油コンビナート等防災体制検討会（石油コンビナートにおける事故に関する検討）報告書目次

資料1－2 石油コンビナートにおける事故の分析結果（案）

資料2－1 別冊1 石油コンビナート等における事故防止の手引き

資料2－2 基礎的知識（案）

資料2－3 事故事例及び事故事例を踏まえた事故防止のポイント（案）

資料2－4 石油コンビナート等災害防止3省連絡会議を踏まえた対策（案）

資料2－5 石油コンビナートにおける事故に対する取組に関する調査票（案）

資料3－1 事業所における事故対応に関する調査結果

資料3－2 自衛防災組織等の防災活動の手引き（案）（別冊2）

資料3－3 自衛防災組織等の防災要員のための標準的なテキスト（案）（別冊3）

5 内容

（1）議事

ア 石油コンビナートにおける事故の分析結果について

【資料1－1】及び【1－2】に基づき事務局から説明

イ 事故防止の方策について

【資料2－1】、【資料2－2】、【資料2－3】、【資料2－4】及び【2－5】に基づき事務局から説明

ウ 防災活動の手引き及び教育テキストの改訂（案）について

【資料3－1】及び【資料3－2】に基づき事務局から説明

（2）主な意見及び質疑（座長：Ⓐ 委員：Ⓑ 事務局：Ⓒ）

ア 石油コンビナートにおける事故の分析結果について

Ⓑ：【資料1－2】6 施設別における事故件数の推移 図2.6.1等について、「その他の施設」とは事務所などが該当するのか。

Ⓒ：お見込みのとおり、一般の建屋などが該当する。

- ②委：「その他の施設」に対する対策は、どのように反映させていくのか。
- ②事：火気作業を行う場合は、可燃物を除去し、除去しきれない場合は、養生を適切に行うなど、対策は共通していると思われるため、「その他の施設」の事故を含めて事事故例と事故防止のポイントを示していくことで対応したい。
- ②委：【資料1-2】7 起因物質別における事故件数の推移 図2.7.1等について、起因物質別における「その他物質」とは、どのような物質となるのか。
- ②事：指定可燃物、可燃性ガス、電気配線などに起因するものとなるため、報告書では、「その他物質」について『指定可燃物、可燃性ガスなどをいう。』などの記載を追加する。
- ②委：【資料1-2】4 事故発生における行為者の年齢・経験年数の推移について、年代別の事故件数があるが、年代ごとの人数は分かるのか。分からないのであれば、年齢補正は行っていないなどの記載が必要ではないか。
- ②事：年代ごとの母数は、統計として把握していない。  
そのため補足の記載を追加する。

イ 事故防止の方策について

- ②委：【資料2-3】施工面 事例No.3 電気設備の火災に対する配慮について、対策が羅列となっているため、もう少し分かりやすくできないかを考えており、委員の協力をいただきたい。
- ②座：良いまとめ方となっていることから、この資料を研修などで活用していくことを検討してほしい。

ウ 防災活動の手引き及び教育テキストの改訂（案）について  
意見なし

以上

令和5年度 石油コンビナート等防災体制検討会（第2回）  
出席者名簿

（敬称略、五十音順）

委員	氏名	役職
委員	荒木 勝美	石油化学工業協会 保安・衛生委員会 消防防災専門委員長
委員	江藤 義晴	四日市市消防本部 予防保安課長
委員	小山田 賢治	特別民間法人 高圧ガス保安協会 保安技術部門 グループマネージャー
委員	金子 正和	川崎市消防局 予防部 保安課長
委員	熊崎 美枝子 (WEB)	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授
委員	小谷 茂	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 防災委員会 委員
座長	小林 恭一	東京理科大学 総合研究院 教授
委員	辻 裕一	東京電機大学 工学部機械工学科 教授
委員	舘 宏明 (欠席)	茨城県 防災・危機管理部 消防安全課長
委員	時岡 宏彰	危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター長
委員	富田 正幸	仙台市消防局 予防部 規制指導課長
委員	中西 美和 (欠席)	慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授
座長代理	西 晴樹	消防庁 消防大学校 消防研究センター 技術研究部長
委員	三浦 安史	石油連盟 安全管理部長